

政策	54 文化の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	文化芸術に触れる機会の確保や文化施設の活用等により文化に親しむ環境を整える。 文化活動団体の支援や文化の伝承者の育成により地域の特色ある歴史文化の継承・発展を図る 本市に縁のある文化人を顕彰するとともに、文化財をはじめとする歴史的文化遗产の保護や地域資源としての活用を図る。						
成果指標	文化芸術活動等の参加者満足度...平成29年度で80% 文化財保有・伝承者の満足度...平成29年度で70%						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定	76.00	77.00	78.00	79.00	80.00
		実績	76.00	77.60	77.30	70.40	
	成果指標2 [ % ]	予定	50.00	55.00	60.00	65.00	70.00
		実績	50.00	39.40	63.40	32.70	
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	574,309	469,186	579,642	645,621		
	実績	578,860	462,042	451,223	664,161	0	
内部評価	貢献度	基本方針を推進するためには、文化に親しむ環境づくりや、歴史文化の継承・発展、文化活動団体支援等が必要であり、本基本施策目標達成の貢献度は高い。					
	達成状況	アンケートの結果、文化芸術活動等の参加者満足度は目標値及び文化財保有・伝承者の満足度は、目標値を達成することができなかった。					
	課題	老朽化した文化関連施設の維持管理に伴う経費が増加傾向であること。また、効果的な文化財の保存・活用を図ることが必要である。					
	取組方針	施設再編にむけて、老朽化した文化関連施設の効率的な維持管理を検討する。また、文化に親しむ環境づくりをする。					
外部評価	成果指標は文化芸術活動等の参加者満足度、及び文化財保有・伝承者の満足度ともに未達となっており、施策の目指す姿から判断して、指標自体の見直しの必要性も感じるものである。 文化の振興が推し量れる指標を検討されたい。 本施策を進めるうえで、観光振興や健康増進分野との連携も検討されたい。例えば、市内外に本市の有する文化財の周知を図るため、文化財を巡り体験する新たな観光ルートの開発や、文化財を巡るウォーキングコースの開発は有効だと考える。 庁内関係部署の連携を図り、新たな取組みを進められたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5401	文化芸術活動の推進				369,166	100
	5402	歴史文化等の保護と活用				294,995	100